
『ボクの生きる道』

島人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『ボクの生きる道』

【Nコード】

N1842B

【作者名】

島人

【あらすじ】

ある男の子が成長していくために、どうすればいいのかを考えている様子。

ボクの生

きる道

「ああ、彼女欲しいなあ」

ボクの、いつも”の口癖。

ボクは現在19歳。

後数か月もすれば、20歳。つまり、十代が終わってしまうのです。

なのにッ！

19年間の思い出をいくらあさっても、

「彼女」

とゆう人物の顔が思い浮かばないんですッ！

あッ！？

肝心なことを、忘れてました（笑）。

いくらあさっても、出てくるワケがない。

居なかったんですもの（笑）。

なぜかと聞かれますと…、話せば長くなりますけど、大丈夫ですか…？

それでは、みなさん聞きたがっているみたいなので、お話しさせていただきます。

ボクは、離れ小島出身なんです。

この、ふざけたことを書いた作者「島人」。

作者名も、そこから付けさせていたきました。

ま、どうでもいい話は置いて。つと言いたいところですが、なかなかそうもいかないんです！

ボクの育ったその島の人口は…200人！
ちよつと微妙な人数だと思つたでしょ（笑）。

その島には、小学校・中学校とが、並んで建つてあります。
その隙間が2メートル！ 近くないですか？

あッ、保育所もあります！離れてますけど…。

とゆうわけで、産まれてから中学校を卒業するまで、ずっと一緒に
んです。

島の人に敬語なんか、使ったこともない。
たどればみんな親戚。みたいな所なんですッ！

少し、熱くなりすぎました。すみません。

どうしてその島と彼女と関係があるのかと言いますと、

「出会いがナイッ！」

この一言です！あまりに近すぎ、

「好き」

などとゆう感情が生まれません！

…と言うことは、
「出会い」

に関して、高校生からがゼロからのスタートなんです！

ここまでは、ご理解頂けましたでしょうか？

はい。

ありがとうございます。

それでは続に参ります。

それじゃあ、高校から彼女を作ればいいんじゃないの？と思った方は
ばかりでしょう。

ボクも、そう思います。そう思っていました。

しかし、高校へ入学してから、落とし穴が待ち受けていました。

それは…

ボクが、工業高校へ入学してしまったことです！

それともう一つ、

「部活」

にはまってしまったんです！

えッ？自分が悪いって？ボクもそう思います。

ちなみに、ボクの初恋は、高校2年生でした。
詳しいことは、『彼女に送った最後のメール』

を、お読みくださ

い。

少し、いじらせてもらいましたけど（笑）。

そんなたいした出会いもなく、（出会った人に失礼ですよね「笑」）
高校を卒業したんです。

その後は、東京で1年仕事して、帰って来ちゃいました（笑）。

えッ？東京で出会いがなかったのかって？それがあればこんなこと
書きませんよ。

つと、ここで新展開なんですッ！

どうゆうことかと言いますと、ボクには姉がいるんです。

その姉が働いているお店に行った時のことなんです。

そのお店には若い女性が、もう一人働いていました。

想像できちゃいましたか（笑）？

姉とその女性が、食事に行こうとしていた所に、バッタリ遭遇しちゃったんです。

そしたら、一緒に行くことになったんです。

そこで、その女性と会話が弾み、メールアドレスを交換することになったんです。

その女性とメールのやりとりをしたり、会って話をしている時は、
スゴく楽しかったんです。そのうちに

「好き」

になったんですッ！

ボクはその女性と、少しでも仲良くなれるように、努力しました。服装にも髪型にも、前より気を使いました。

そしてボクは、決心したんです。

「告白しよう…」
と。

ボクは、ありのままの、自分の素直な気持ちを、その女性に伝えました。

その後のことは、あえて書きません。

ボクは今まで、人のせいにして、自分の素直な気持ちを、押し殺してきました。

これからは、自分に正直に、自分の本当の気持ちを大切にしていこうと思います。

自分が変わろうとしないと、周りの状況、そして、自分も変われないことがわかったからです。

他人^{ヒト}から言われても、自分が、どうにかしたい。変わりたい。そう
思っ^{ヒト}て初めて、自分が変わる

「キツカケ」

ができたんだと思います。

何でも、考えてるだけじゃダメ。行動しないとダメなんだあと、感じました。この一件で。あッ！最後の結末、分かっちゃいました（笑）。それでは、

ボクはこの辺で…。
さようなら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1842b/>

『ボクの生きる道』

2011年9月2日07時15分発行